

ECOコン2025 アイデア企画書（記載例）

提出日 2025年 月 日

応募者	代表者所属・氏名 ※氏名にはふりがなも記入してください。		
	所属	県庁大学 温暖化対策課学部 環境活動推進学科 3年	
	かな	けんちょう たろう	
	氏名	県庁 太郎	
	グループ名 ※グループで参加される方は、グループ名を記入してください。		
	県庁大学 温暖化対策サークル		
	グループメンバー氏名		
		県庁 次郎	
代表連絡先	住所	〒	010-8570
		秋田市山王四丁目 1 - 1	
	電話番号	018-860-1560	
	E-mail	en-ondanka@pref.akita.lg.jp	

活動内容は次ページにご記入ください。

活動内容	
選択したテーマ	テーマ例 A社：食品ロスを減らすために特に若い世代に働きかけるアイデアとは ※こちらは例題です。実際の募集テーマとは異なります。
アイデアの名称	レスキュー！食材チャレンジ
コンセプト (課題解決の背景や考え方)	消費者はできるだけ新鮮で見た目のよい食品を購入したいと考えるため、選ばれなかった食品は売れ残りとなり、食品ロスの原因となっていることに着目した。 選ばれなかった消費期限が間近な食材をセットで販売して、お得に食品ロスを減らす。
対象者・ターゲット	節約志向の学生や、料理好きな若者。
目指すターゲットの行動変容	ターゲットの行動をどのように変えたいか、その行動変容がどう広がっていくかご記入ください
	・食品廃棄を気にするようにして、消費期限間近商品の購入する。 ・食材を無駄にしない行動をきっかけに日々の生活の中でも意識して環境に配慮した商品を選択するようになる。
実践内容	消費期限が近い生鮮食品を詰め合わせた「レスキューセット」を特別価格で販売。売り場ではポスター等で食品ロス削減についての啓発もして購入者に訴えかける。 購入した若い世代には、その食材を使ったレシピやアイデアをSNSで共有してもらうハッシュタグキャンペーンを実施。 手頃な価格で食材を提供し、SNSでの拡散による認知度向上と参加促進を図る。 レシピ共有で食材の活用方法を広げる。
	目指す数値 食品廃棄率10%減
	活動場所 〇〇スーパーの食品売り場
	計測の方法 廃棄された生鮮食品の量を測定する。
	効果検証方法 実践前と実践後の期間において、生鮮食品の廃棄量を比較する。
スケジュール	8月：宣伝ポスター等の作成等準備、企業担当者と打合せ調整 9月：実証実験 ・レスキューセット販売①：9月第1週 ・まとめ・改善点の検討 10月：・レスキューセット販売②：10月第4週 11月～12月上旬：実践のまとめ、実装化へ向けた検討、最終審査会発表準備

活動に係わる必要経費・エネルギー			
経費が 発生するもの ※支援上15万円 程度	品名	金額	経費総額
	レスキューセットを作る用ポリ袋（ロゴ入り、100枚）	40,000	72,000
	宣伝ポスターの印刷費用（計6枚程度）	8,000	
	宣伝用デジタルサイネージレンタル料（3カ月）	24,000	
			円程度
別途エネルギーにかかるもの等	デジタルサイネージ電気代：700円／月		

※記入欄が足りない場合は、行を増やすなど適宜スペースを拡大してください。

※アイデアのイメージ図等、参考となる資料等がある場合は添付してください。

※企画書は5枚まで、添付資料は5枚までとします。（A4サイズ、裏表印刷可）